

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日2021年11月24日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	室蘭市役所			代表者名	青山 剛
担当者部署	企画財政部			連絡先電話番号	0143-25-2712
担当者役職	主事	担当者氏名	澤田 将	連絡先E-mail	
住所	051-8511 北海道室蘭市1-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前日の研修のフィードバックを含めて、今後の進め方について協議することができた。講演では聞けなかった他の自治体の事例等を照会いただき、室蘭市としてどのように進めていくのがいいか検討する材料をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	今後も室蘭市の支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年11月19日	9時00分	12時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	同上		最寄駅	オンライン
	所在地	同上		最寄駅からの交通手段	同上
	派遣形態	支援・助言（実地）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	○掲載可
------	------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者

	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数	
	職員（ICT職員）	1	人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今後の自治体DXの進め方や庁内でのコミュニティの形成方法、研修の開催方法やワークショップの手法について		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今後必要な仕事に対する意識の改善、庁内でDXを推進していくための体制の形成方法など今回の研修を振り返り、庁内でWSを開く場合の改善点等について		
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今回の研修で、若手職員の中でも何人かDXを自分事ととらえてもらうことができた。継続して活動していくために、コミュニティの形成方法について学んだ。ひとまず、そういった場所をつくることから始めてみるといいとアドバイスをもらった。WSの開催方法については振り返りを行いお互い意見を出し合い、今後につなげられることができる内容を話せた。		
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	WSの運用方法、庁内職員の意識改革の進め方、職員同士が意見を言い合えるコミュニティ形成の必要性		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥組織業務改善ができた		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）	コミュニティを形成した後どのように、庁内で組織化していくかについて職員課と整理出来なかったが、今回の研修に職員課職員が参加していたことから、今後前向きに進めていけると思う。		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特になし		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定	
事業の最終的な目指す姿			

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

